

◎2020年10月1日 第16回倫理審査委員会

申請者	湘南慶育病院 眼科部長	久保田 俊介
研究の課題名	近方実用視力測定アプリ(非医療機器)を用いた臨床研究(非介入型)	
研究の概要	本研究では、実臨床に即した老視機能を計測し、老視発症による日常生活の質の低下との関連性を検討することで、1)老視の自覚症状と、それにより相関した老眼の客観的なモニタリング法を確立する、2)新規開発したiPhone用アプリケーションの近方実用視力の計測に対する妥当性を検証する、3)老眼の重症度分類を指標化して、治療開始のタイミングを明確化することを目的とする。	
判定	承認	承認番号 承20-007 ※全員承認で一致した

申請者	湘南慶育病院 眼科部長	久保田 俊介
研究の課題名	老視関連遺伝子の検索	
研究の概要	本研究は、初期段階の老視と進行した老視を有する患者の水晶体上皮細胞の遺伝子及びタンパク質の発現を解析することで、老視の発症から成熟するまでの一連のメカニズムを担う遺伝子及びタンパク質を検索・同定するものである。	
判定	修正した上で承認	承認番号 承20-008 ※全員承認で一致した

申請者	湘南慶育病院 リハビリテーション部 科長 理学療法士	松本 仁美
研究の課題名	従来の上肢リハビリに加えKiNvis療法とA-DOC-Hを加えた治療効果の検証：症例集積研究	
研究の概要	脳卒中後の上肢麻痺患者に対して、KiNvis療法と従来型運動療法に加えADOC-HIによるアプローチを実施することを経験し、機能的な改善や、日常生活での手の使用変化を検証し、より効果の高い治療の提供を検証する。	
判定	承認	承認番号 承20-009 ※全員承認で一致した

申請者	湘南慶育病院 リハビリテーション部 理学療法士	三枝 洋喜
研究の課題名	地域包括ケア病棟入院患者の日常生活動作(ADL)の改善率および退院先、退院後3ヶ月後の生活状況に影響を及ぼす因子の検討：前向きコホート研究	
研究の概要	脳卒中後の上肢麻痺患者に対して、KiNvis療法と従来型運動療法に加えADOC-HIによるアプローチを実施することを経験し、機能的な改善や、日常生活での手の使用変化を検証し、より効果の高い治療の提供を検証する。	
判定	承認	承認番号 承20-012 ※全員承認で一致した

申請者	湘南慶育病院 脳神経内科 医師	椎橋 元
研究の課題名	アルツハイマー型認知症と軽度認知障害、健常者を対象とした安静時及びタスク時における前頭葉脳波の比較：Pilot Study	
研究の概要	本研究は、アルツハイマー型認知症、軽度認知障害、健常者を対象に、安静時およびタスク時の脳波を簡易脳波計で測定し、その違いを検討することを目的とした観察研究である	
判定	修正した上で承認	承認番号 承20-013 ※全員承認で一致した